

Crescendo

音楽祭特別号

vol.2

MEDIKIT ARTS CENTER くれっしえんど



三浦 文彰
ポール・ホアン
徳永 二男
アドリアン・ラ・マルカ
ユンソン
ピョートル・アンデルシェフスキ
清水 和音
田村 響
高木 竜馬
サミュエル・スンウォン・リー
下野 竜也
井田 勝大
バトリック・ド・バナ
エレオノーラ・アバニャート
ジャコモ・カステッラーナ
アイゲリム・ベケタエワ
バクティヤール・アダムザン
隠岐 彩夏
藤木 大地
中井 美穂

宮崎国際音楽祭

バレエやかがり火コンサートなど、新たな試みにあふれる今年の宮崎国際音楽祭。後編では、その華やかな舞台を支える“音楽祭の核”である室内楽やオーケストラに焦点を当てます。世界的ピアニスト、ピョートル・アンドルシェフスキをはじめとする名手たちの共演から、どんな特別な音楽が生まれるのか。三浦文彰音楽監督が、その魅力を語ります。

松坂 前半では、バレエやかがり火コンサートなどの新たな試みについてお聞きしてきました。

ここからは、室内楽やオーケストラの魅力、そして今回出演される世界的な名手たちについて伺いたいと思います。

5月5日 **演奏会(1)鍵盤の詩人アンデルシェフスキ、究極の室内楽**と、5月10日 **演奏会(2)オーケストラで描く「深き陰影と若き息吹」**

に、音楽祭初登場の世界的ピアニストが出演されるようです。

三浦 はい。僕が心から尊敬するポーランド出身のピアニストのピョートル・アンドルシェフスキ



©Simon Fowler
ピョートル・アンドルシェフスキ



宮崎国際音楽祭音楽監督
三浦文彰
(ヴァイオリニスト)

んです。初めてお会いしたのは彼がコンチェルト(協奏曲)を演奏されたときでした。その演奏に深く感銘を受け、その後一緒に食事をする機会もありました。気さくで、話していて本当に音楽家らしい、魅力的な方です。ただ、レパートリーの選び方には非常に慎重で、何でも弾くタイプではありません。コンチェルトもソロも、心から納得した作品だけを演奏される。その姿勢は、音楽家として本当に素晴らしいと思います。

今回も、彼自身が厳選したプログラムを演奏してください。世界中から集まる名手たちと、宮崎でどんな音楽が生まれるのか、僕自身もとても楽しみにしています。

松坂 演奏会(1)に出演するヴィオラのアドリアン・ラ・マルカさんも有名な方ですね。年齢は三浦さんより少し上の方ですね。



©Marco Borggreve
アドリアン・ラ・マルカ

三浦 以前から彼の素晴らしい素晴らしさを知っていました。2024年、イスラエル・フィルの定期演奏会の帰りに空港で偶然会ったんです。お互い楽器を持っていたので声を掛け合い、その後食事をしながら音楽や演奏の話がたくさんしました。宮崎国際音楽祭のこともよく知っていて、彼も参加したいと言ってくれました。今回来てくださるのは本当にうれしいです。

松坂 演奏会(1)の室内楽の見どころは、それだけではありませんよね。

三浦 はい。台湾出身のヴァイオリニスト、ポール・ホアンさんも、世界で活躍する素晴



らしいヴァイオリニストです。それに続いてチェリストのコンソンさんも出演します。豪華なメンバーとの共演に、今からワクワクしています。



©Marco Borggreve
ポール・ホアン

松坂 音楽祭がスタートした時は「宮崎国際室内楽音楽祭」という名称であったように、室内楽は音楽祭にとって大切な軸の一つです。その室内楽について魅力を教えてください。



©Marco Borggreve
コンソン

三浦 音楽の基本はやはりアンサンブルだと思います。人数が少ない分、奏者同士の呼吸や視線のやり取りまで感じられるのが室内楽の魅力です。音が生まれる瞬間に立ち会うような感覚を客席で味わっていただけたらと思

います。**若き息吹**でオーケストラとも共演されます。前半ではモーツァルトをピアノの弾き振りで演奏されるとのことですが、この「弾き振り」とは、どのような形になるのでしょうか。

三浦 一般的な話になりますが、ピアノを中央に置き、指揮者と同じ向きでオーケストラに向かって弾きながら指揮をするスタイルです。ずっと指揮するわけではなく、要所でオーケストラと目を合わせ、呼吸や身振りを交えながら、音楽を一つにまとめていきます。

松坂 昨年、チョン・ミョンフンさんが室内楽で、皆さんを見渡しながら演奏されていたのが印象的でした。ただ、オーケストラとなると、人数も多いのでまた違ってきますよね。

三浦 オーケストラでも、モーツァルトやベートーヴェンのように比較的編成が大きい作品では、この弾き振りがとても効果的で、アンサンブルの一体感が増します。今回は、彼自身の強い希望で弾き振りをされるので、どんな音楽が生まれるのか今から楽しみです。

松坂 演奏会(2)の後半では、アンデルシェフスキさんの弾き振りの後、若手国際指揮者サミュエル・スンウォン・リーさんがタクトを振られます。



©Jae-wook Kang
サミュエル・スンウォン・リー

三浦 彼のことは、最初はヴァイオラ奏者として知りました。その後、指揮者としても活躍されるようになり、数年前に彼が率いる台湾のオーケストラと共演した際、リハーサルからとてもよい演奏をしていたので、ぜひ宮崎でも指揮をお願いしたいと思いました。

松坂 もう一つのオーケストラ公演、5月16日 **演奏会(4)ジュピター & ヤマト「天空のシンフォニー」**では、モーツァルトの「ジュピター」と、羽田健太郎さん作曲の交響曲「宇宙戦艦ヤマト」が演奏されますね。

三浦 なかなか他では見られない組み合わせですね。

松坂 アンデルシェフスキさんは5月10日 **演奏会(2)オーケストラで描く「深き陰影と**

二男先生がヴァイオリン・ソロを演奏されました。今回はそのソロを僕が務めます。これは実は指揮の下野竜也さんの提案なんです。先生が初演したソロを、弟子である僕が演奏し、そしてオーケストラのコンサートマスターとして徳永先生に見守っていただくという、僕にとっても特別に感じる舞台になりそうです。



徳永 二男

松坂 世代を超えて受け継がれてきた音楽が、今年の舞台で新たに響くのです。最後に、第31回宮崎国際音楽祭に向けて、皆さまへのメッセージをお願いします。

三浦 バレエとのコラボレーションをはじめ、室内楽やオーケストラまで、素晴らしい音楽家たちによる特別なコンサートを今年もたくさんご用意しております。アンデルシェフスキさんが2公演に出演してくださるのも、大きな聴きどころです。クラシックが初めてという方にも、きつと心に残る瞬間があるはず。ぜひ劇場で、その響きを体験していただけたら嬉しいです。



宮崎国際音楽祭総監督
松坂千尋
(宮崎県立芸術劇場館長)

公演情報

4/29(水) Special Concert I
(祝) 三浦文彰が解き明かす
「室内楽の秘密」

開場14:30 開演15:00 会場:演劇ホール

演奏家自身のトークとともに、室内楽の面白さと聴きどころをわかりやすく紐解くスペシャルコンサート。

ヴァイオリン:三浦文彰 チェロ:清水詩織 ピアノ:高木電馬
ナビゲーター:中井美穂

5/5(火) 演奏会(1)
(祝) 鍵盤の詩人アンデルシェフスキ、究極の室内楽

開場14:15 開演15:00 会場:演劇ホール

音楽祭初登場の世界的ピアニスト、アンデルシェフスキと名手たちが響き合う、極上の室内楽アンサンブルをお届けします。

ピアノ:ピョートル・アンドルシェフスキ ヴァイオリン:ポール・ホアン、三浦文彰
ヴィオラ:アドリアン・ラ・マルカ チェロ:コンソン

5/10(日) 演奏会(2)
オーケストラで描く「深き陰影と若き息吹」

開場14:15 開演15:00 会場:アイザックスターンホール

ピョートル・アンドルシェフスキの弾き振りとサミュエル・スンウォン・リーの指揮で、モーツァルトとメンデルスゾーンを鮮やかなオーケストラサウンドでお届けします。

ピアノ/弾き振り:ピョートル・アンドルシェフスキ
指揮:サミュエル・スンウォン・リー 宮崎国際音楽祭管弦楽団

5/16(土) 演奏会(4)
ジュピター&ヤマト「天空のシンフォニー」

開場14:15 開演15:00 会場:アイザックスターンホール

モーツァルト「ジュピター」と交響曲「宇宙戦艦ヤマト」を、徳永二男前音楽監督がコンサートマスターを務め、下野竜也の指揮でお届けする壮大なオーケストラステージ。

指揮:下野竜也 ヴァイオリン:三浦文彰 ピアノ:高木電馬
ソプラノ:隠岐彩夏 コンサートマスター:徳永二男 宮崎国際音楽祭管弦楽団

西島数博さんが語る

バレエの魅力

今年の音楽祭の大きな特徴のひとつ、バレエとのコラボ。世界のトップダンサーが信頼を寄せるパトリック・ド・バナ氏の振付・世界初演のバレエ作品が宮崎で、また 2022 年同氏振付の作品が都城で上演されます。

この公演の魅力や楽しみ方を宮崎出身のバレエダンサー・西島数博さんに、演者ならではの視点で語っていただきました。今回はインタビューの一部をご紹介します。(聞き手：中西可奈)

西島 「わざわざ海外まで観に行かなくてはならない国際的なトップダンサーが、宮崎のためにいらしてください。それを可能にした宮崎県ってすごいなって思うんです。」

——今回新作はコンテンポラリーの要素を含んだ作品になると思いますが、間違った解釈をしてしまわないか、心配です。

西島 「コンテンポラリーダンスは、答えは一つじゃありません。お客様がそれぞれに想像したものが答えになるんです。観る人が答えを作る。だから面白いんですよ。」



©黒木朋子

特別インタビュー全編は公式プログラム(500円)に掲載

- ・西島数博さん特別インタビュー
 - ・イラストレーター 雪下まゆさんと三浦文彰音楽監督の特別対談
- 計8ページ、豪華二本立て。音楽祭をより深く味わう一冊です！音楽祭期間中販売！このほかグッズは4月1日より発売します。

西島数博

3歳より宮崎の伊達バレエスクールにて母伊達由何子のもとでバレエを始める。1991年、日本人として初めてフランス・カルポー賞国際バレエ・コンクール男性シニア部門第1位受賞。その後ヨーロッパで100回以上の舞台に出演。日本帰国後、1994年スターダンサーズバレエ団プリンシパルとして活躍。2000年TVドラマへの出演から芸能界でも活躍。現在は、ダンサー兼演出振付の他、自身のプロデュース公演も手掛ける。

宮崎国際音楽祭 ご利用いただけるサービスのご案内

宮崎国際音楽祭では、みなさまに安心して公演をお楽しみいただけるよう、各種サポートをご用意しています。ご利用の際は、劇場スタッフにお声かけいただくか、公式ホームページの案内をご確認ください。



託児サービス

- 対象：6か月～小学6年生
 - 料金：おひとり 1,000円(税込)
 - 申込：公演1週間前まで(要事前申込)
- ※「宮崎神宮 かがり火コンサート」および「気軽にクラシック」のうち、コンサート①②④⑤ではご利用いただけません。



点字プログラム

- 視覚に障がいのある方に無料でご用意します。(公演2週間前までに要申込)
- 申込先：劇場企画広報課 (☎0985-28-3208)
- 9:00～22:00/月曜休館(月曜祝日の場合は翌平日休館)



車椅子貸し出し

- 館内専用車椅子を西口・正面玄関にて貸出。
※数に限りがあります。



詳細・申し込みはこちら



身障者等用駐車場

公園駐車場および劇場敷地内に優先スペースあり。
※予約不可/当日警備員へご相談ください。



詳細はこちら

